

我が家の フラワー

15 ナスターチウム

ナスターチウム（和名：キンレンカ）は南アメリカ原産で、花色は黄、橙、赤があり、葉に斑が入る種類や八重咲き種まであります。観賞用としてはもちろんですが、ハーブやエディブルフラワーとしても利用できます。また、茎がどんどん伸びていくので、ハンギングバスケットやコンテナの素材として魅力的です。

花期は初夏と秋の涼しい季節には楽しめますが、夏の暑さには弱いため、真夏は花をつけるのを休んでしまいます。



【管理のポイント】

置き場所：十分な日光を必要としますが、真夏は直射日光が一日3～4時間も当たれば十分なので、明るいこもれびのあたるような場所に置きます。

水やり：多すぎると草姿が乱れやすくなるので、乾いたらやるようにします。

肥料：窒素肥料分が効きすぎると葉ばかり茂って、花つきが悪くなるので、窒素、リン酸、カリ分のバランスのとれた肥料を施し、花芽がでたらリン酸分の多い液体肥料を月2回程度施します。

ナスターチウムの生育と管理

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育状態				芽出し		開花				開花		
置き場/日光				日当たり				明るい日陰		日当たり		
水やり				ふつう								
肥料			置き肥 ● ●			液体肥料(月2回)			液体肥料(月2回)			
作業				タネまき		さし芽			植え替え			

ガーデニング

県園芸総合センター
竹内 小百合



16 アジサイ

アジサイはユキノシタ科アジサイ属の落葉広葉低木で、日本原産の花木です。江戸時代にオランダの医師によってヨーロッパに伝えられ、以来、オランダやベルギーなどで改良され、日本に輸入されたのが、セイヨウアジサイ（ハイドランジア）です。



【管理のポイント】

植え付け場所：日当たり排水のよい、腐植質に富む肥沃地で、冬の冷たい風を防ぐような場所が理想です。植えつけ後は乾燥防止のために敷きワラ等をします。

剪定：花が終わったらすぐに行います。切る位置は大きい葉を4～6枚以上残すのが理想ですが、目安としては先端より2、3節下の節で切ります。また、株元から勢いよくでた枝は高さを開花枝とそろえて切ります。新梢の頂部に花芽をつけるので、花後遅くに剪定すると、花芽をとばしてしまう恐れがあります。

かき取り：剪定後に伸びてくる芽は来年咲かそうと思う花の数よりやや多めに残し、あとは全てかき取ります。落葉後には枝先に太くて丸みのある花芽がついたものだけを残して他の枝は切ります。そして、新春芽が5cm程度伸びた頃、地際から伸びだした枝（来年用の枝）はしっかりしたものを3～4芽残し、あとの芽はかき取ります。

水やり：かん水は多めにします（目安は朝しおれない程度）。特に夏場は多めのかん水が必要です。

肥料：3月～10月の間に月に1回化成肥料を施します。